



銀欄手赤絵菊花文盃 文龍作

改めて “湖東焼の美と盛衰を学ぶ”

湖東焼は文政十二年(1829)年に纏屋半兵衛が伊万里から職人を招き、芹川畔に窯を築いたのが始まりです。その後幾多の変遷はありましたが、直弼公の積極策により湖東焼の名品が生産されるようになりました。今回、直弼公が高級品や日用品の「湖東焼」を彦根の産業の柱にすべく育成した事を踏まえ、湖東焼の文化や独自の技術を再認識するべく、特別講演会を開催いたします。

第一部 特別講演会

2010年

3月7日(日) 午後2時～4時

会場：彦根城博物館 能舞台見所

募集人員：150名

会費：無料(但し、申し込みが必要)

主催：NPO法人 湖東焼を育てる会

後援：井伊直弼と開国150年祭実行委員会
彦根市・彦根市教育委員会

基調講演：谷口徹氏(テーマ：湖東焼の美と盛衰)

パネルディスカッション(テーマ：湖東焼から学ぶ)

パネラー：谷口徹氏・杉岡茂郎氏・幹山繁太氏
中川一志郎氏・小井川理氏

第二部

記念交流会

午後5時～7時

会場：マリージュ彦根(送迎バスにて移動)

会費：4000円(当日会場にて徴収)

●湖東焼の愛好家とのフリートークとパーティー

●鑑定(鑑定料 品1000円 会場にて持参して下さい)

お申し込みは旨製ハガキに必要事項をご記入の上、2月28日必着までに左記までお送り下さい。
FAX、Eメールからでも申し込みできます。

①お名前 ②郵便番号・住所 ③電話番号

④第1部の参加 ⑤第2部の参加 ⑥湖東焼鑑定の希望

宛先：〒520-0064 彦根市本町1-6-22

湖東焼を育てる会

●6月上旬に受講票を送付いたします。



“特別講演会”と“パネルディスカッション”パネラーのご紹介



谷口 徹氏

彦根市教育委員会
文化財部次長

テーマ
「湖東焼の美と盛衰」

略歴

- ・1953年 滋賀県に生まれる
- ・明治大学文学部考古学専攻科卒
- ・1986年 彦根城博物館 学芸課学芸員
- ・2004年 彦根市教育委員会 文化財課学芸員
- ・2008年 彦根市教育委員会 文化財部次長



杉岡 茂郎氏

たねや美濠美術館
学芸員

テーマ
「湖東焼を収集する為の覚書」

略歴

- ・1962年神戸市にて生まれる
- ・大阪府立高槻北高等学校卒、京都清水焼窯元にて修行
- ・1987年 京都府立 陶工高等技術専門校卒
- ・1992年 滋賀県立陶芸の森、陶芸館にて近江の焼物の収集・調査に参加
- ・たねや美濠美術館の学芸員として企画・調査を担当



幹山 繁太氏

清水焼 陶芸家

テーマ
「幹山伝七と清水焼」

略歴

- ・1973年 6代目幹山伝七の長男として生まれる
- ・京都府立陶工高等技術専門校卒
- ・現在6代目の下で7代目を継承すべく日々研鑽中



中川 一志郎氏

再興湖東焼 陶芸家

テーマ
「湖東焼との出会い」
「伝統文化の継承と継続」

略歴

- ・1958年 信楽焼雲井窯4代目一辺陶の二男として生まれる
- ・京都府立陶工高等技術専門校卒
- ・1986年 彦根市沼波町に築窯、湖東焼を再興する
- ・2002年 彦根市芹川に芹川工房を構える
- ・2007年 滋賀県伝統的工芸品認定を受ける



小井川 理氏

彦根城博物館 学芸員

テーマ
「湖東焼と直弼公」

略歴

- ・2004年 彦根城博物館の学芸員(茶道具・調度担当)になる

湖東焼を育てる会は積極的に地域社会と連携・活動しています。

故郷・その文化・自然・物づくりなど「好きな人」の集まりです。

日本の伝統文化として誇れる「湖東焼」の再興を夢みつつ、陶芸を学び、その普及のため、陶芸教室などに取り組んでいます。

会員募集中です



アートフェスタに参加



備前焼研修旅行



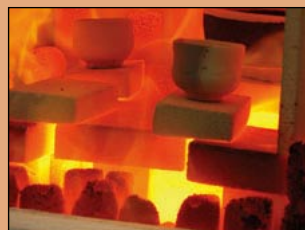
NHK取材・呉須にて絵付け



ロクロ実演



晒屋窯完成火入れ式



大老楽試し焼



晒屋窯窯出し



抹茶碗制作風景

皆さん来て下さい。見て下さい。できたら粘土に触って下さい。

湖東焼を育てる会の略歴

- 湖東焼復興推進協議会が前身
- 平成17年 滋賀県の認証を受け NPO法人「湖東焼を育てる会」になる
- 平成19年3月 晒屋窯完成
- 現在の会員数90名



NPO 法人
湖東焼を育てる会

お問い合わせは…

〒522-0064 彦根市本町1-6-22

TEL・FAX: 0749-24-6711

E-mail: info@kotoyaki.com